

児童発達支援・放課後等デイサービスone

公表

放課後等デイサービス
事業所における自己評価結果

公表日			R7年 3月 20日		回収数		5
	放 デ イ ／ 児		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	共通	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・部屋の広さを考慮して活動内容を工夫している。 ・小集団での活動が出来る場所の他に、個別で過ごすための場所も用意し、室内でも負担なく過ごしてもらるように整えている。	・他事業所との交流、保護者会など人数が集まるイベントは児童、職員の全体的な配置に意識する。
	共通	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		・1対1での支援にも取り組めるように職員を配置している。	・児童に対して職員が多い状態、またはその逆が起きないように事前の準備を整えている。
	共通	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・玄関はスロープ、室内も段差がない作りとなっている。 ・動線を意識して設備が配置されている。視覚を遮るための部屋の配置もされている。	・視覚を遮る場所がある分、死角が増えることもあるので、職員配置をより考えていく。
	共通	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・生活空間は常に清潔に保ち、過ごしやすい環境を整えている。 ・誤食、異食を防ぐ点でも、室内の清掃は業務後の実施に加え、活動の切り替え場面で行うこともある。	・部屋、仕切りが多い分、掃除の行き届かない場所も見られることがあるため、掃除などから環境維持を徹底していきたい。
	共通	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・必要に個別対応ができる環境を整えている。 ・個別対応、小学生は宿題、または不安定なタイミングでのクールダウンとして個別で過ごせる環境を整えている。	・危険を防ぐために、子どもが個別の時間を希望した場合には職員に確認するように伝えていく。
業務改善	共通	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		・日々の振り返り等では行っているが、よりよく業務を行える改善も行いたい。 ・職員それぞれが目標を持つと同時に、活動ごとまたは児童の様子や目標に対してのアプローチは日々職員間で確認している。	・職員配置、児童対応などにより直接的な確認が取れない場合もある。
	共通	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・保護者アンケートを実施し、保護者の意見を聞く機会を設けて、意見を業務改善につなげている。 ・年度末に公表できるように保護者へ評価表を配布し、その回答を元に職員間で対策を考えている。	・保護者の参加しやすいイベントを計画していく。
	共通	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・職員間での疑問点、改善点などは都度話をする機会を設け、より良い支援に向けての改善に努めている。	・確認の漏れがないように二重の確認を心掛けていく。
	共通	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	・今年度は行っていない。今後行う予定。 ・現在は第三者評価の実施はしていないが、準備は整えている。	・必要に応じて外部の方の意見を伺える機会を整え、設けていく。
	共通	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・外部の研修を受講したり、社内での研修を実施している。 ・すべての職員がスキルアップできるよう、研修への参加をしている。	外部研修に参加した職員が講師となり他職員へ報告することで、職員全体で研修内容を理解し取り組めるようにしていく。
	共通	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	2	・現在作成中。実施予定。	・作成後、県へ報告を行い法人ホームページに掲載し公表。ホームページへ公表している事の周知の徹底をしていく。
	共通	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		・定期的なモニタリングを行うことで、ニーズの把握を都度分析している。 ・本人の希望、保護者の希望、相談員の見立てを元に事業所での様子を踏まえ、計画に盛り込んでいる。	・本人、ご家族の意向を踏まえたうえで当事業所で個別支援会議を実施し計画に反映している。今後も成長に応じた計画の作成をしていく。
	共通	13	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・全職員に情報を共有し、支援計画に反映させている。 ・前回の目標を再確認し、それを踏まえて職員全体で児童の様子を確認し、現在の状況、今後の見通しなどを相談して子どもの成長を支援できる計画作成に取り組んでいる。	・決められた期間以外にも支援会議を開催できるように取り組む。

適切な支援の提供	共通	14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・個別支援計画が更新された際には全職員に周知している。	情報共有の漏れがないように注意する。
	共通	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・検査の結果なども把握したうえで、職員が普段から見ている子どもことの行動や成長を職員周知し、確認している。	事業所毎のLINEグループを活用し簡易的な共有を随時行い、細かな記録も残し振り返りができるようにする。
	共通	16	個別支援計画には、ガイドラインの「児童発達支援/放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・モニタリングや保護者との情報交換、日々の生活の中から必要と思われる支援を計画に盛り込む。	わかりやすく具体的に作成することを心掛けている。
	共通	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・全職員で活動を立案している。 ・毎月職員で話し合い決めている。 ・担当の曜日を作り基本的な案を出した後、全体での職員会議を実施しチームで立案を行っている。	固定化された活動、新たな挑戦となる活動など立案し実行していく。
	共通	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・様々な景観が積めるような活動を毎月考えている。 ・前月、前年のプログラムを参考にしつつも、現状で利用者に必要なプログラムを計画している。	状況に合わせて新たな取り組みとなるような活動も計画を進める。
	共通	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		・専門的支援を組み合わせ実施している。 ・施設外での様子も踏まえ、成長に合わせた個別支援計画を作成し支援に取り組む意識をしている。	個別対応での、専門的支援の時間をより多く設定し、支援を進めていきたい。
	共通	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・活動内容を前日に全職員で確認し、支援内容や役割分担を全員で確認している。 ・前日の振り返りも含めて情報交換、周知確認をしている。	職員への役割分担、持ち味を活かした活動が提供できるように細かく確認をする。
	共通	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・振り返りを行い、継続した支援が出来るよう職員間で情報共有をしている。 ・振り返り実施後、書面に残し、LINEにて全体周知している。	・業務時間内に終わるよう意識する。
	共通	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・支援に必要な事柄はこまめに周知し、職員が共通認識できるようにしている。 ・児童記録に限らず、保護者からの相談や情報も記録として残すことを意識している。	・推測、憶測の記入がないように注意する。
	共通	23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・定期的にモニタリングを行い、全職員で情報共有し、適切な皆をしを行っている。 ・モニタリング以外にも必要に応じて保護者や相談員を交えた会議を行い、個別支援計画に反映させている。	・日程調整では早めの連絡、候補日の提案など保護者の負担を減らせるようにする。
	放デイ	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	5		・自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供を意識した活動を考案している。	・地域の関係機関との交流の場を提案していきたい。
	放デイ	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		・子ども自身が選択できる機会を作っている。 ・聴覚情報や視覚情報など子どもにとってわかりやすい情報を提案し、自己選択が出来るような支援を行っている。	・苦手と思われる子には選択肢の提案なども提供する。
	共通	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・管理者、発覚のみでなく、利用者との関係性も見えて必要な職員が会議や情報交換に参加している。	・事前の打ち合わせ、情報共有なども細かく実施していく。
	共通	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・保健師、相談員など必要な関係機関との情報交換も実施している。	・関係機関との情報共有の場を多く作ってきたい。
	放デイ	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		・送迎時の情報交換をし、必要に応じて学校へ訪問し担任などとの担当者会議も実施している。	・対象児童の情報交換がやりやすくなるように、良好な関係性を保つ。
	放デイ	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		・情報共有の機会を作り、個々の把握を行っている。 ・放デイ利用開始に向けていままでの様子などを聞き今後の支援の参考としている。	・当事業所からも率先し発信をしていく。
	放デイ	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	3	・対象となる利用者なし。前例はないが今後行う予定。	・当事業所からも率先し発信をしていく。

関係機関や保護者との連携	児 発	31	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		・移行に向けた段階的な支援を行っている。 ・利用者の成長に合わせた環境と、保護者の意向を伺い、併用利用に向けての打ち合わせも、相談員を交えることで円滑に進むよう話し合いの機会を作るようにしている。	・モニタリングでの合同会議、電話などでも情報交換の機会を増やしていきたい。
	児 発	32	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		・就学先の学校へ事前に電話や訪問し、情報の共有を行っている。	・事前の情報共有の機会を作っていきたい。
	共 通	33	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	1	・準備を整えている。	・基本的には、相談支援事業所を通しての相談となっている為、今後は機会を検討していきたい。
	放 テ イ	34	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	・地域の公園や公共施設で同じ時間と同じ環境で過ごす機会を提供している。	・今後は感染症予防に勤めつつ、交流の場や活動に参加していく。
	放 テ イ	35	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	5		・他事業所や学校、各自治体との連携を図っている。 ・自立支援協議会が主催の会議に出席するようにしている。	・今後も情報共有の場に参加していく。
	児 発	36	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	・公園活動などで、交流や一緒に遊ぶことはあるが、直接的なかわりがないので、園との交流の機会を作っていきたい。	・保育園、こども園併用児が多いため、感染症予防に勤めつつ今後機会を作っていきたい。
	共 通	37	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・送迎時に、自宅での様子を保護者に確認したり、その日の活動の様子を伝えている。活動前、活動後には必ず保護者に自宅での様子を聞くこと、事業所での様子を伝えること、をしている。	・保護者の心配しているポイントなどに対してもより丁寧な相談や、情報共有を心掛けている。
	共 通	38	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	・今後機会があれば参加を促したり情報の提供をしていきたい。 ・定期的に保護者会を開催し、保護者に対して支援方法などを伝える機会を作っている。	・保護者参加の研修なども今後は計画を進めていきたい。
保護者への説明等	共 通	39	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・利用開始前の契約の際にすべて説明、確認を行っている。 ・利用契約書、重要事項説明書を基に説明し、不明な部分に關しても都度質問を受けたい際には正確な返答をしている。	・必要に応じ丁寧に説明を行っていく。
	共 通	40	こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・モニタリング以外にも保護者からの話を聞く機会を設定するようにしている。	・どんな事でも相談できる場所となれるよう日頃から会話の機会を設けていく。
	共 通	41	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	5		・毎回、作成時に内容の説明を行っている。 ・実際に個別支援計画を見てもらいながらの説明を心掛けている。	・事業所内の全職員が説明できるよう、管理職からの説明と共有を進めていく。
	共 通	42	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・悩みや不安等を聞く機会を作っている。 ・利用者の兄弟などに対しての助言も行っている。	・どんな事でも相談できる場所となれるよう日頃から会話の機会を設けていく。
	共 通	43	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		・祝日イベントとして保護者、家族が交流できる機会を作っている。 ・保護者会、保護者や兄弟参加イベントを提供している。	・早めの日程調整で、保護者の日程調整がやりやすくなるように進め、参加を促していきたい。
	共 通	44	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・改善点などは保護者に対しても周知している。	・適切で迅速な対応ができるよう、日頃から共有を図っていく。
	共 通	45	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		・InstagramやLINEで定期的に情報を発信している。 ・Instagramを使い、日々の活動の様子などを発信している。また、LINEにて活動予定なども配信している。	・Instagramの更新も引き続き行っていく。
	共 通	46	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・個人情報の事業所外の持ち出しの禁止を徹底し、十分に留意している。※事業所外での会議時などは除く	・事業所内の環境整備(整理整頓)を継続し物の管理を徹底していく。
	共 通	47	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・支援において、成長が見られた姿、気付き等を送迎時に伝えている。 ・それぞれに適した意思疎通を意識している。	・引き続き、情報の伝達には細かな配慮を意識して取り組んでいく。
	共 通	48	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	・感染症の流行もあり、出来ていなかったため、今後行えればと思う。 ・招待できる準備を整えている。	・事業所からの発信を率先し行っていく。

非常時等の対応	共通	49	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・契約時に保護者へ説明している。 ・研修等を行い全職員が把握できている。 ・保護者に配布し、事業所内のすぐ目に入る場所にも掲示している。また、それに合わせた準備や周知確認も行っている。	・周知いただけるよう定期的に案内を出していく。
	共通	50	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・避難訓練（年二階）の実施、研修を行っている。 ・年2回以上、消防署の職員に指導をいただき、避難訓練を実施している。	・周知いただけるよう定期的に案内を出していく。
	共通	51	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		・緊急時連絡カードにより個々の状況を把握している。 ・保護者より書面にて利用者の状況をいただいている。	・服薬状況や持病については、一覧表にし定期的に更新していく。
	共通	52	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		・昼食、おやつ提供時に気を付けて確認をしている。 ・保護者より、医療機関からの情報をいただいている。	・アレルギーについては一覧表にして定期的に更新していく。
	共通	53	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・書面で準備し、職員周知、安全管理の徹底をしている。	・安全意識の向上、持続的な環境整備を行い、安心できる生活空間を提供していく。
	共通	54	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		・必要に応じて保護者に説明している。	・周知いただけるよう定期的に案内を出していく。
	共通	55	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・ヒヤリハットを事業所内で速やかに対処し、再発防止の対策をしている。 ・過去の記録も書面として残し、LINEでも職員へ全体周している。	些細なことも報告し、職員1人の判断ではなく全体で協議したうえで、再発防止に努める。
	共通	56	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・虐待防止委員会の実施、職員研修への参加を行っている。 ・職員への虐待防止研修を実施している。	・虐待は絶対にあってはならない事であり、定期的な研修を行っていく。
	共通	57	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	5		・必要に応じて身体拘束が必要な場合の同意等について契約時や都度の説明を行っている。	・基本的に実施しないが、必要に応じて保護者や関係機関に丁寧な説明を行う。